

# 授業科目 視覚機能学実習 I

【担当教員名】 石井 雅子、魚里 博、前田 史篤、 中村 桂三、江崎 秀子 他		対象学年	1	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 視覚系は外界の情報を取り入れる入力系（ものを見る機能）、入力された情報を処理する視覚情報処理系（ものを認識する機能）、視覚情報を運動機能（見たものを読んだり、書いたり、手足を動かしたりする機能）などへ伝える出力系から成り立っている。入力系の検査として屈折検査、視野検査を中心として、少人数グループにより実習を行う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 視力、屈折、眼圧、眼底、視野検査等の理論を理解できる 2 画像ファイリングの操作ができる 3 視能訓練士を目指すにあたって相応しい態度を習得することができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-3	ガイダンス・班分け			3	
4-6	視力（1）			1.3	
7-9	屈折（1）			1.3	
10-12	視野（1）			1.3	
13-15	前眼部・眼底			1.3	
16-18	視力（2）			1.3	
19-21	屈折（2）、調節、眼圧			1.3	
22-24	視野（2）			1.3	
25-27	色覚			1.3	
28-30	視力（3）			1.3	
31-33	視野（3）			1.3	
34-36	画像ファイリング			1～3	
37-39	屈折（3）、調節、眼圧			1.3	
40-42	まとめ・課題			1～3	
43-45	まとめ・課題			1～3	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学第2版	丸尾敏夫	文光堂	2011・18,900円＋税
参考書					
その他の資料		適宜、プリントを配布する。			
【評価方法】 定期試験、授業態度、提出物を総合して評価する。			【履修上の留意点】 班別を実施するため別途予定表を配布する。		